

平成 17 年 7 月 19 日

日本李登輝友の会『日台共栄』編集部 御中

東京書籍株式会社
編集局 社会編集部
福田 行高

『新編新しい社会科地図』ご質問への返答

このたび、貴台から 7 月 4 日付けで頂戴いたしましたご質問に返答させていただきます。返答が遅れましたことをお詫び申し上げます。

今回ご指摘を賜っております『新編新しい社会科地図』は、文部科学省検定済み教科書としての地図帳でございます。文部科学省の検定基準では、外国の国名の表記は、原則として『世界の国一覧表』によることと定められております。『世界の国一覧表』は、外務省監修のもとに発行されております。台湾は独立国家として扱われておりません。対外関係、すなわち国名を含めた領土・領域の記載につきましては、こうした書を含めて日本国政府の見解に基づいて取扱っております。

なお、台湾と日本との第二次世界大戦終了後のかかわりにつきましては、以下の二点をふまえて記載いたしております。一つは昭和 20 年 8 月に受諾したポツダム宣言でございます。ここには「カイロ宣言の条項は履行せらるべく、又日本国の主権は、本州、北海道、九州及四国並に吾等の決定する諸小島に局限せらるべし」と記されております。もう一点は、昭和 20 年 10 月 25 日に台北において当時の台湾総督らが署名しました降伏文書でございます。これ以降、台湾は事実上日本領でなくなっております。

以上、編集上の考えをお伝えするしだいでございます。よろしくご理解のほどお願い申し上げます。